

## II 適切な相談と支援につなげる体制づくり

様々な問題を抱え、自殺のリスクが高い人が適切な支援を受けられるよう、相談窓口の周知を図るとともに、必要に応じて専門家につなぐことができるよう、悩みを抱えた人に対する支援体制を充実します。

また、今後、自殺対策を更に推進していくために、相談支援者等の資質の向上を図ると共に、自殺の危険を示すサインに気づき適切な対応を図ることができるゲートキーパーの養成等を展開することで、自殺対策の担い手・支え手となる人材を育成していきます。

その他、様々な問題を抱え、自殺のリスクが高い人が適切な支援を受けられる提供体制を充実します。

### (1) 地域における相談体制の整備

自殺は多種多様な要因が複雑に関係していることから、制度のすきまに陥ってしまう人の支援にも配慮しながら、市民の状況に応じたきめ細かな相談支援に努めるとともに、関連する支援内容や相談窓口の周知を図っていきます。

#### 取り組み

- 様々な問題に応じた相談体制の充実
- 相談体制の周知
- 地域における声かけ、見守り活動の推進

### (2) ゲートキーパー及び相談支援者の養成などの人材育成

ゲートキーパーの役割を担う人材を養成するため、研修会を幅広い分野で継続して開催するとともに、自殺対策を支える人材の確保、育成、資質の向上に努めます。また、民生児童委員やボランティアなど、地域で自殺対策に取り組む人・団体等の活動を支援するとともに連携を深め、包括的な支援の体制づくりに取り組んでいきます。

#### 取り組み

- 様々な分野でのゲートキーパーの養成
- 相談支援者等の資質の向上等

### (3) 医療提供体制の充実

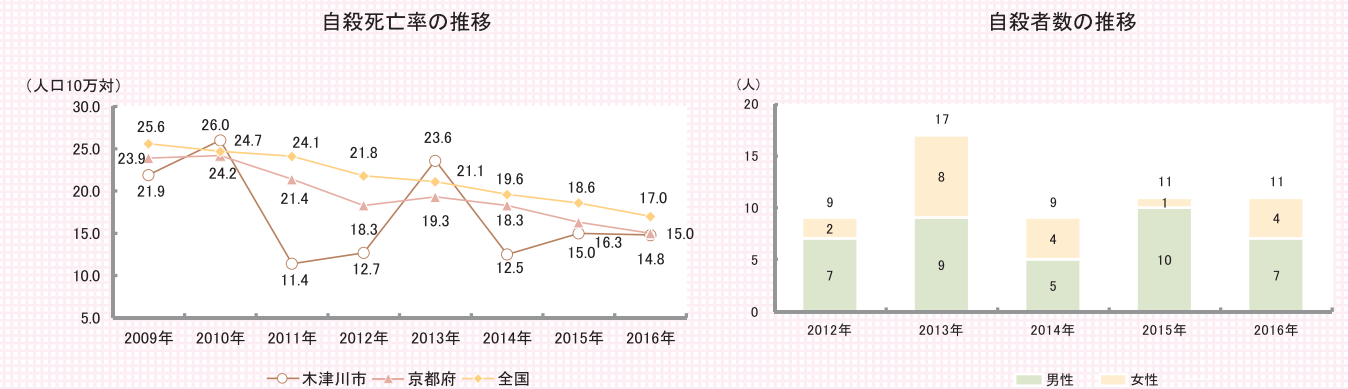
自殺の危険性が高い人の早期発見に努め、また、その人が抱える悩み、様々な問題・課題に対応できるように、精神科医療、保健、福祉等の各施策の連動性を高め、誰もが適切な精神保健医療福祉サービスを利用できるよう支援します。

#### 取り組み

- 適切な精神保健医療福祉サービスの提供

## 木津川市における自殺の現状

- ・木津川市の自殺死亡率は増減を繰り返しながら減少傾向となっています。2016年では自殺死亡率が14.8となっており、全国に比べ低くなっています。
- ・自殺死亡率は男性が30歳代、女性は50・70・80歳代で京都府・全国に比べ特にながくなってきています。
- ・これまでの人生のなかで、「自殺したいと思ったことがある」市民の割合が18.1%となっています。



性別・年代別の自殺死亡率 (2012年～2016年)

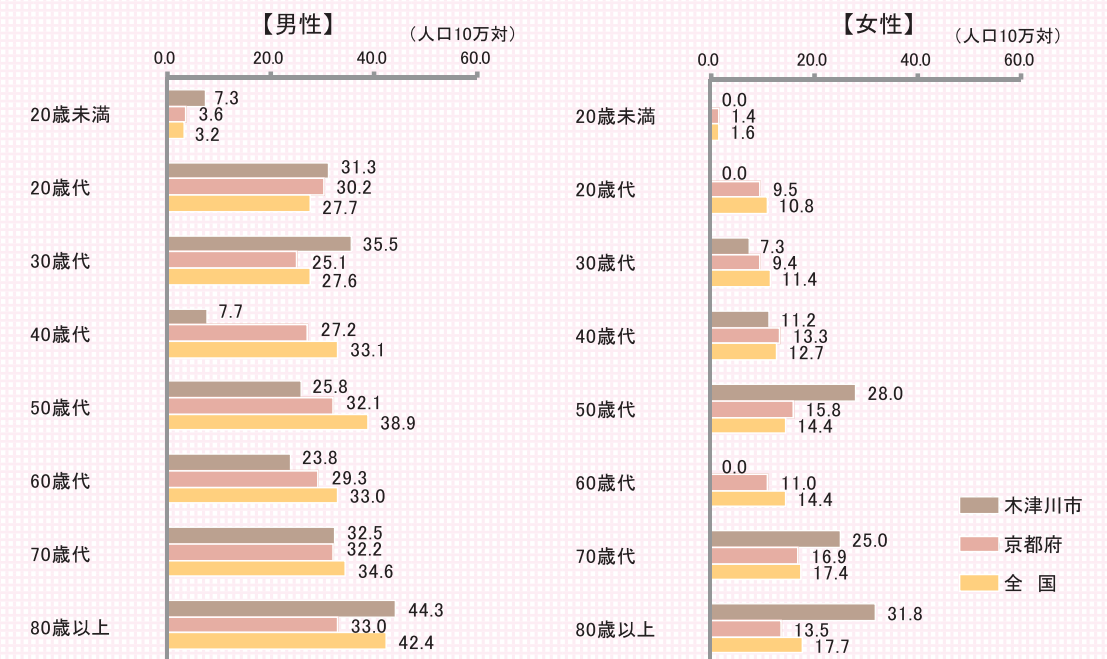


図 【市民意識調査】 これまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことの有無

